

RS ウイルス感染症

- 毎年秋から冬にかけて流行し、乳児が感染すると細気管支炎（細い気管支まで炎症を起こして呼吸が苦しくなりゼーゼーします）を起こして入院治療が必要になることもあります。
- RS ウイルス（respiratory syncytial virus）は、感染した人からの咳やくしゃみで伝染します。空気中に飛び出したウイルスが口や鼻に直接入る飛沫感染の他、テーブルの表面などに付着したウイルスが他の人の手について、それを口や鼻に入れることでも感染します。
- 1歳までに半数以上が、2歳までに100%の子どもたちが感染します。水痘やおたふくかぜなどは、その病気には2回かかることはありませんが（終生免疫といいます）、RS ウイルスは繰り返して感染する子もいます。

RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

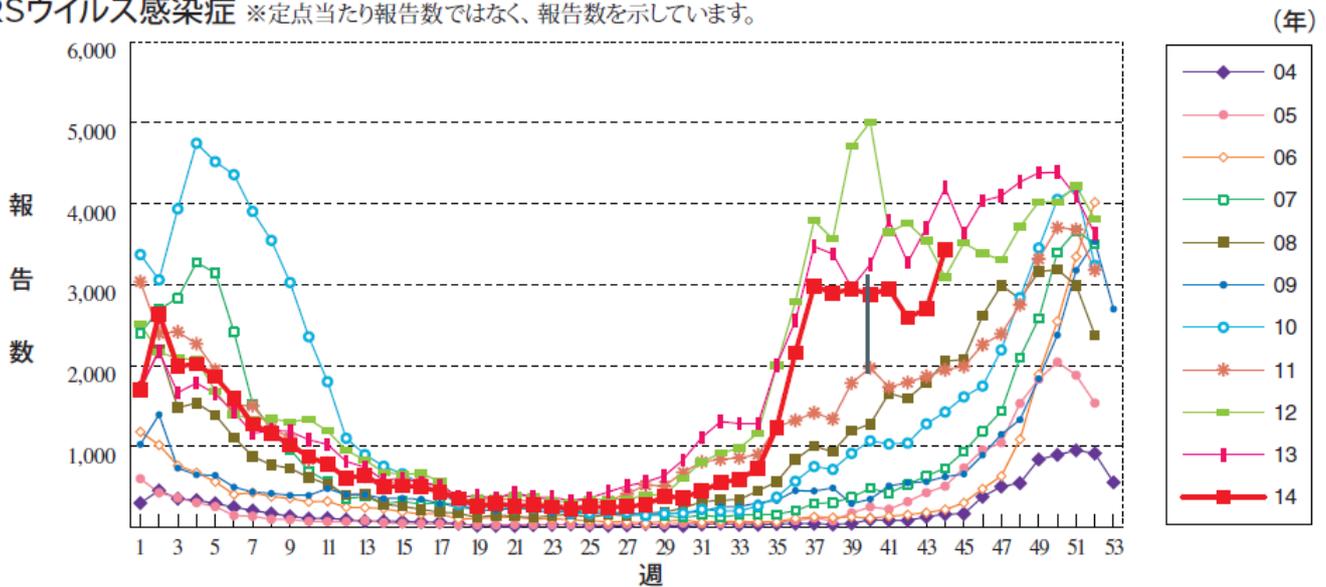


図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合 (2004年～2013年第36週)

